

# 超臨界流体部会 令和3年度 第2回役員会資料

(役員会)

日時：令和4年3月16日(水) 12:00~13:00

場所：オンライン会議(学会 GOING VIRTUAL システム)

## 報告事項

- |                                     |      |
|-------------------------------------|------|
| 1. NEWS LETTER No. 33 に関する報告        | 資料 1 |
| 2. セミナー「バイオマス処理における亜臨界水の活用について」の報告  | 資料 2 |
| 3. 化学工学会第 87 年会および IChES2022 について   | 資料 3 |
| 4. 2022 年度(令和 4 年度)化学工学年鑑について       | 資料 4 |
| 5. 会員数・会員異動について                     | 資料 5 |
| 6. 共催、協賛事業、関連国際学会について               | 資料 6 |
| 7. 令和 3 年度決算および令和 4 年度予算案(本部提出)について | 資料 7 |
| 8. 部会 HP について                       | 資料 8 |
| 9. その他                              |      |

## 審議事項

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| 1. 令和 4 年度活動計画(本部に提出した内容) | 資料 9  |
| 2. 令和 4 年度部会役員・幹事・委員の確認   | 資料 10 |
| 3. その他                    |       |

## 報告事項

### 資料1 NEWS LETTER No. 33に関する報告

---

担当：宇敷 育男（広島大学），織田 耕彦（東京工業大学）

発行：令和3年12月14日（電子メールで送付）

部数：328

内容：A4, 9 ページ

- ・ 巻頭言 中原副部長
- ・ 第20回サマースクール報告
- ・ 9th International Conference on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation (MTMS'21)の開催報告とお礼
- ・ 化学工学会第52回秋季大会シンポジウム「超臨界流体部会シンポジウム」報告（学生賞受賞者の発表の概要紹介）
- ・ 編集後記
- ・ 行事予定

### 資料2 セミナー「バイオマス処理における亜臨界水の活用について」の報告

---

協賛：日本エネルギー学会バイオマス部会，日本有機資源協会

日時：2021年12月8日（水）13:00～17:00

場所：Zoom Cloud Meetings（オンライン講演会）

オーガナイザー：川尻 聡，佐々木 満，長田 光正

参加人数：51名（うち講師6名，部会員15名，協賛会員4名，非部会員12名，学生14名）

- |                                |               |
|--------------------------------|---------------|
| 「水熱・亜臨界水・超臨界水について」             | 東北大学 渡邊 賢 氏   |
| 「水熱・亜臨界水を用いたバイオマスのエネルギー資源変換」   | 竹中工務店 川尻 聡 氏  |
| 「水熱・亜臨界水を用いたバイオマス・プラスチック混合物変換」 | 静岡大学 岡島 いづみ 氏 |
| 「水熱・亜臨界水中でのバイオマス材料創生」          | 信州大学 長田 光正 氏  |
| 「亜臨界水・超臨界水中でのバイオマス変換」          | 熊本大学 佐々木 満 氏  |
| 「超臨界水ガス化反応」                    | 広島大学 松村 幸彦 氏  |

総合討論（亜臨界、超臨界、水熱などの用語の定義に関する議論）

資料3 化学工学会第87年会および IChES2022 について

---

化学工学会第87年会 神戸大学鶴甲第1キャンパス/オンライン

超臨界流体部会	一般講演	N会場/オンライン	3月18日 10:40~16:20
	ポスター	P会場/オンライン	3月17日 13:20~15:20
	表彰式	P会場/オンライン	3月17日 18:15~19:00

the third International Chemical Engineering Symposia (IChES 2022)

K-3 Supercritical Fluid Division 20th Anniversary International Session

Organizers: Watanabe Masaru (Tohoku Univ.)・Uchida Hirohisa (Kanazawa Univ.)

E会場/オンライン 3月16日 15:30~18:00

[Invited lecture] Functionalization and sterilization of implantable medical devices using supercritical fluid technology

(Aix Marseille U.) Badens Elisabeth

[Invited lecture] Research Network High Pressure Process Technology Bochum

(U. Bochum) Petermann Marcus

[Invited lecture] Hydrothermal conversion of biomass for a chemical and fuel production

(U. Hohenheim) Kruse Andrea

[Invited lecture] New trends in Green Chemistry and Supercritical Fluids Innovations

(CEA Res. Director) Sarrade Stephane

[Invited lecture] Hydrothermal conversion for wastes and development of continuous processes

(Tohoku U.) (Reg)Watanabe Masaru

E会場/オンライン 3月17日 9:00~11:00

[Invited lecture] Supercritical fluid for food application

(U. Alberta) Temelli Feral

[Invited lecture] Graphene Exfoliation with Supercritical Fluids

(Universidad Autonoma de Nuevo Leon) Morales Ibarra Rodolfo

[Invited lecture] Current Research on Supercritical Fluids in Indonesia

(Institut Teknologi Sepuluh Nopember) Machmudah Siti

[Invited lecture] Material synthesis and production with supercritical fluids  
 (Kanazawa U.) (Reg)Uchida Hirohisa

資料4 2022年度(令和4年度)化学工学年鑑について(とりまとめ 基礎物性 分科会)

年鑑とりまとめ委員(以下、敬称略) 金沢大学理工研究域 春木 将司

執筆者

- |                        |                     |        |
|------------------------|---------------------|--------|
| 1. 超臨界流体全般             | 八戸工業高等専門学校産業システム工学科 | 本間 哲雄  |
| 2. 基礎物性                | 名古屋大学大学院工学研究科       | 町田 洋   |
| 3. 材料・合成               | 産業技術総合研究所化学プロセス研究部門 | 小野 巧   |
| 4.1 バイオマス・天然化合物(抽出・分離) | 福岡大学工学部             | 相田 卓   |
| 4.2 バイオマス・天然化合物(反応)    | 東京大学大学院新領域創成科学研究科   | 秋月 信   |
| 5. エネルギー               | 静岡大学工学部             | 岡島 いづみ |

資料5 会員数・会員異動について(令和3年9月から令和4年2月まで)

会員数 300名

会員  
内訳

名誉会員 4名	部会法人会員 3社4名
部会個人会員 210名	法人賛助会員 1社3名
個人賛助会員 11名	学生会員 68名

入会 17名

種別	氏名	所属	入会月
個人	奈良 知幸	株式会社竹中工務店	2021.9
学生	東郷 宣弘	東京理科大学	2021.9
個人	田中 雅裕	超臨界技術センター株式会社	2021.9
学生	松岡 央己	金沢大学	2021.10
学生	長谷川 研志郎	東京農工大学	2021.11
学生	藤井 美月	静岡大学	2021.11
学生	森 健登	静岡大学	2021.11
学生	青木 悠亮	静岡大学	2021.11
学生	ボウ セイユウ	岐阜大学	2021.11
個人	中西 勉	公益財団法人かがわ産業支援財団	2021.11
学生	椿 香月	中央大学	2021.12
学生	木村 日向子	高知工科大学	2021.12
学生	苅谷 啓杜	東京工業大学	2021.12
学生	小大塚 宇汰	東北大学	2021.12

学生	黒沢	陽一朗	八戸工業高等専門学校	2021. 12
個人	芝	雄介	三菱ケミカル株式会社	2022. 2
学生	張	鵬	東京大学	2022. 2

---

退会種別	43名 氏名		所属	退会月
個人	野中	洸希	三菱ケミカル株式会社	2021. 11
個人	岡	伸人	近畿大学	2021. 12
学生	前田	直哉	金沢大学	2021. 12
学生	清澤	匠	金沢大学	2021. 12
学生	中元	祐綺	福岡大学	2021. 12
個人	萩原	沙樹	東北大学	2022. 1
学生	徳永	真一	福岡大学	2022. 1
学生	森谷	茉由	東北大学	2022. 1
学生	長谷川	研志郎	東京農工大学	2022. 1
学生	大島	広太郎	東北大学	2022. 1
学生	岩田	恵梨奈	中央大学	2022. 1
学生	矢田	守	福岡大学	2022. 1
学生	柴田	浩一朗	福岡大学	2022. 1
学生	秋山	廉	福岡大学	2022. 1
学生	五嶋	涼	福岡大学	2022. 1
学生	岡村	志生	福岡大学	2022. 1
学生	山内	健史	静岡大学	2022. 1
学生	柳原	玲	東京工業大学	2022. 1
学生	新川	恭平	東京理科大学	2022. 1
個人	大須賀	永	東レ・ダウコーニング株式会社	2022. 2
個人	石山	新太郎	弘前大学	2022. 2
個人	早乙女	義明	日本大学	2022. 2
個人	クナーヌ ソン	ナッタナイ	東京工業大学	2022. 2
個人	内藤	浩輝	東北大学	2022. 2
個人	本城	政稔	株式会社神鋼環境ソリューション	2022. 2
個人	鳥田	勇介	東京工業大学	2022. 2
個人	兼子	穰	金沢大学	2022. 2
個人	辻	宙夢	広島大学	2022. 2
個人	野口	純矢	広島大学	2022. 2
個人	稲垣	茉美	中央大学	2022. 2
個人	鎌田	睦大	東北大学	2022. 2
学生	秋山	星佳	東京工業大学	2022. 2

個人	門脇	佳祐	東京工業大学	2022.2
学生	阿部	友哉	東北大学	2022.2
学生	小泉	穂高	中央大学	2022.2
学生	野沢	佳敏	東京理科大学	2022.2
学生	平栗	裕介	高知工科大学	2022.2
学生	園田	恭兵	九州大学	2022.2
学生	石井	澄人	信州大学	2022.2
学生	坪井	響己	信州大学	2022.2
学生	鴨川	らん聖	熊本大学	2022.2
個人	今	美沙紀	株式会社日立ハイテク	2022.2
個人	長田	文夫	日機装株式会社	2022.2

資料6 共催、協賛事業、関連国際学会について

---

The 7th International Solvothermal and Hydrothermal Association Conference (7th ISHA 2021) (Virtual)

2021年10月26日－28日 (Cancun, Mexico.)

分離技術会年会 2021 (協賛)

2021年11月4日－5日 (オンライン, Zoom ミーティング)

第55回化学工学の進歩講習会「脱炭素への工学」(協賛)

2021年12月15日－16日 (名古屋大学およびオンライン, Zoom ミーティング)

第121回東海技術サロン(CSTC フォーラム)「世界のCO<sub>2</sub>削減技術動向と日本の課題」(協賛)

2022年2月8日 (AP名古屋およびオンライン, Zoom ミーティング)

13th International Meeting on Supercritical Fluids (ISSF 2022)

2022年5月15日－18日 @ Montreal, Canada.

9th International Conference on Engineering for Waste and Biomass Valorisation (WasteEng 2022)

2022年6月27日－30日 @ Copenhagen, Denmark.

## 貸借対照表

令和4年2月28日現在

公益社団法人 化学工学会  
超臨界・流体

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,852,983	2,419,550	433,433
流動資産合計	2,852,983	2,419,550	433,433
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
国際的超臨界活動推進基金	3,969,158	4,500,000	△ 530,842
特定資産合計	3,969,158	4,500,000	△ 530,842
固定資産合計	3,969,158	4,500,000	△ 530,842
資産合計	6,822,141	6,919,550	△ 97,409
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	6,822,141	6,919,550	△ 97,409
一般正味財産合計	6,822,141	6,919,550	△ 97,409
(うち特定資産への充当額)	4,500,000	4,500,000	0
正味財産合計	6,822,141	6,919,550	△ 97,409
負債及び正味財産合計	6,822,141	6,919,550	△ 97,409

超臨界・流体 CREST-PC

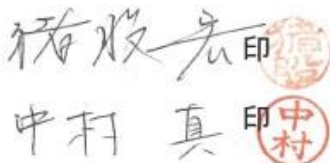
令和4年3月4日 16:41:07

正味財産増減計算書および貸借対照表を監査し、適切と認めます。

超臨界流体部会監事

令和4年 3月15日

令和4年 3月15日


  
 中村 真 印

3月16日の役員会では、押印の日付が令和3年になっていたのを、令和4年に修正した  
その他の記載内容は同じである

## 正味財産増減計算書

令和 3年 3月 1日から令和 4年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会  
超臨界・流体

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	18	0	18
特定資産受取利	18	0	18
受取会費	0	167,000	△ 167,000
部会会員受取会費	0	167,000	△ 167,000
事業収益	278,747	0	278,747
学術育成事業	278,747	0	278,747
学術集会、研究発表事業	275,747	0	275,747
人材育成講習会事業収益	3,000	0	3,000
雑収益	39	6,032	△ 5,993
受取利息	39	59	△ 20
雑収益	0	5,973	△ 5,973
経常収益計	278,804	173,032	105,772
(2) 経常費用			
事業費	652,353	50,901	601,452
通信運搬費	0	1,850	△ 1,850
消耗品費	100,000	0	100,000
諸謝金	241,603	33,411	208,192
雑費	310,750	15,640	295,110
管理費	12,860	737,660	△ 724,800
通信運搬費	12,100	1,680	10,420
印刷製本費	0	733,700	△ 733,700
雑費	760	2,280	△ 1,520
経常費用計	665,213	788,561	△ 123,348
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 386,409	△ 615,529	229,120
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 386,409	△ 615,529	229,120
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	289,000	464,000	△ 175,000
当期一般正味財産増減額	△ 97,409	△ 151,529	54,120
一般正味財産期首残高	6,919,550	7,071,079	△ 151,529
一般正味財産期末残高	6,822,141	6,919,550	△ 97,409
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,822,141	6,919,550	△ 97,409

超臨界・流体 CREST-PC

令和 4年 3月 4日 16:41:08

### 消耗品費について

部会でハイブリッド講演会用のツール（本部と同様）を購入した。

### 諸謝金について

86年会と併設して行われた IChES 2021，部会 20 周年を記念して行われた第 52 回秋季大会での超臨界流体部会シンポジウムと冬に行われたセミナーでの講師謝礼分に相当

### 雑費について

MTMS'21 共催金が含まれる。



## 収支予算書

令和 4年 3月 1日から令和 5年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会  
超臨界・流体

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[ 220,000]	[ 0]	[ 220,000]
部会会員受取会費	( 220,000)	( 0)	( 220,000)
部会個人会員会費	30,000	0	30,000
部会法人会員会費	190,000	0	190,000
事業収益	[ 1,190,000]	[ 0]	[ 1,190,000]
学術育成事業	( 1,190,000)	( 0)	( 1,190,000)
学術集会、研究発表事業	1,190,000	0	1,190,000
雑収益	[ 11,000]	[ 0]	[ 11,000]
受取利息	1,000	0	1,000
雑収益	( 10,000)	( 0)	( 10,000)
雑収入	10,000	0	10,000
経常収益計	1,421,000	0	1,421,000
(2) 経常費用			
事業費	[ 1,250,000]	[ 0]	[ 1,250,000]
施設利用料	100,000	0	100,000
通信運搬費	20,000	0	20,000
諸謝金	200,000	0	200,000
雑費	930,000	0	930,000
管理費	[ 447,000]	[ 0]	[ 447,000]
会議費	50,000	0	50,000
旅費交通費	100,000	0	100,000
通信運搬費	150,000	0	150,000
消耗品費	20,000	0	20,000
印刷製本費	20,000	0	20,000
諸謝金	50,000	0	50,000
複写費	10,000	0	10,000
雑費	47,000	0	47,000
経常費用計	1,697,000	0	1,697,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 276,000	0	△ 276,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 276,000	0	△ 276,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	[ 390,000]	[ 0]	[ 390,000]
当期一般正味財産増減額	114,000	0	114,000
一般正味財産期首残高	0	0	0

超臨界・流体 DESKTOP-E1H2926

- 1 -

令和 3年11月16日 06:57:28

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
一般正味財産期末残高	114,000	0	114,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	114,000	0	114,000

## 資料8 部会 HP について

担当：町田 洋(名古屋大学)，小野 巧(産総研)

部会 HP の更新および機能の強化

### ・Peatix サイトの利用（部会 HP からのリンク）

Web 決済システムによる講演申し込みおよび決済の実行

- 販売手数料のみ 4.9% + 99 円/チケット 1 枚
- 手数料を引いた額が指定の口座に開催 5 日以内に振り込まれる
- クレジットおよび銀行振り込み対応（コンビニ払いも可能だが、外すことにした）
- 公開方法として「限定公開」URL を伝えた人だけが閲覧できるモードと、「一般公開」どなたでも閲覧でき、Peatix のイベント検索結果に表示されるモード
- 申し込みには各自まず Peatix への登録が必要（アドレス パスワード）

### セミナー「バイオマス処理における亜臨界水の活用について」での実施

- 学生は、無料のチケット購入（学生 14 名全員、Peatix を用いて参加申込）
- 大学・産総研に勤務する参加申込者も全員 Peatix を使用
- 企業勤務の参加申込者のうち非部会員は、銀行振込が多数  
（企業の参加者のうち銀行振込の割合：部会員 2/6、協賛会員 2/4、非部会員 8/12）

### ・サーバーの移行（2021 年 12 月にメール審議）

これまでの(株)東京コンピュータシステムがサーバーレンタル事業から撤退の方針

さくらインターネット(株)のレンタルサーバーを運用（2022 年 6 月頃までに移行予定）

	移行方法A 本部が紹介する業者に委託	移行方法B 支部/部会ご自身で対応
移行方法	委託業者にて新サーバーにデータを移行	支部/部会ご自身で新サーバーにデータを移行
移行費用	11万円程度	本部支払い1万円程度 +ハリウ2.2万円
年間サポート	2,6,12 万円/年から選択（次ページ）	サーバー使用料本部支払い0.6万円/年 ハリウ8万円/年
備考	WordPress/というCMS（コンテンツ管理システム）	



こちらを検討

## 審議事項

### 資料 9 令和 4 年度活動計画（本部に提出した内容）

---

#### 1. 国際関連事業

- ・超臨界流体部会 20 周年記念国際セッション（主催）  
～2022 年度年会 国際シンポジウム（IChES2022）における特別セッション企画～  
[K-3] Supercritical Fluid Division 20th Anniversary International Session

#### 関連国際シンポジウムの協賛

- ・The 13th International Symposium on Supercritical Fluids（ISSF2022）  
15/05/2022 - 18/05/2022, @Montreal, Canada

#### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・超臨界流体部会第 21 回サマースクール： 8 月頃

#### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第 87 年会にあわせて併催の IChES2022 における特別セッション
- ・第 53 回秋季大会 超臨界流体部会シンポジウムの開催： 9 月

#### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・超臨界流体・基礎セミナーの開催： ~~3月下旬~~今後日程調整、Virtual Meeting を予定

#### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・年鑑の担当・執筆、編集委員会への参加、Topic 投稿  
化学工学年鑑 2022 化学工学会： 10 月

#### 6. 受託事業の推進

- ・プロジェクト研究の企画検討（チーム編成）

#### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ニュースレターの発行（年 2～3 回）  
SCF NEWSLETTER No. 34： 7 月、メール配信  
SCF NEWSLETTER No. 35： 12 月、メール配信

#### 8. 特記事項

- 超臨界流体部会 第 1 回役員会： 3 月（年会初日・リモート）
- 超臨界流体部会 第 2 回役員会： 9 月（秋季大会初日・リモート）

部会行事の担当予定表（各年度は、3月1日から翌年2月末日まで）

	年会ポスター	化学工学年鑑	サマースクール	秋季大会
令和4年度 (2022年度)	材料・合成	基礎物性	エネルギー	バイオマス・ 天然化合物
令和5年度 (2023年度)	バイオマス・ 天然化合物	エネルギー	材料・合成	基礎物性
令和6年度 (2024年度)	基礎物性	材料・合成	バイオマス・ 天然化合物	エネルギー
令和7年度 (2025年度)	エネルギー	バイオマス・ 天然化合物	基礎物性	材料・合成

資料10 令和4年度部会役員・幹事・委員の確認（案は全員留任）

- 
- ・ 部会長 渡邊 賢(東北大学)
  - ・ 副部会長 内田 博久(金沢大学), 中原 光一(サントリー)
  - ・ 監事 猪股 宏(東北大学), 中村 真(ダイダン)
  - ・ 相談役 後藤 元信(名古屋大学), 阿尻 雅文(東北大学)
  - ・ 幹事
    - 会計：大田 昌樹(東北大学) 総務：野中 利之(東北大学)
    - 材料・合成分科会
      - 正代表者：筈居 高明(東北大学)
      - 副代表者：百瀬 健(東京大学), 陶 究(産総研),  
鈴木 章悟(アルビオン)
    - 基礎物性分科会
      - 正代表者：春木 将司(金沢大学)
      - 副代表者：本間 哲雄(八戸高専), 寺谷 彰悟(JGC),  
平賀 佑也(東北大学)
    - エネルギー分科会
      - 正代表者：岡島 いづみ(静岡大学)
      - 副代表者：林 瑠美子(名古屋大学), 川崎 慎一郎(産総研),  
佐藤 剛史(宇都宮大学), 秋月 信(東京大学)
    - バイオマス・天然化合物分科会
      - 正代表者：川尻 聡(竹中工務店)
      - 副代表者：長田 光正(信州大学), 佐々木 満(熊本大学)
    - 研究プロジェクト
      - 主幹：内田 博久(金沢大学)
      - 補佐：長田 光正(信州大学), 藤井 達也(産総研)
    - 部会連携
      - 佐藤 善之(東北工業大学)
    - 海外会員サポート
      - 辻 智也(マレーシア UTM)
  - ・ 部会ニュースレター編集委員： 宇敷 育男(広島大学), 織田 耕彦(東京工業大学)
  - ・ 部会HP担当： 町田 洋(名古屋大学), 小野 巧(産総研)
  - ・ 「化学工学」編集委員： 百瀬 健(東京大学)
  - ・ 「化学工学」TOPICS委員： 川尻 聡(竹中工務店), 宇敷 育男(広島大学)
  - ・ 「化学工学論文集」編集委員： 秋月 信(東京大学)